

## 平成 29 年度の取り組みについて

## 1 「NPO×メディア連携交流会」の開催

## 過去の審議会での御意見

- ・メディアの力を使って、公益的な活動の認知を広げることが必要。
- ・マスコミからNPOを取り上げてもらうことで、NPOのやる気にもつながる。

[日時] 平成 30 年 1 月 19 日（金） 15:00～17:00

[場所] アオーレ長岡 市民交流ホールA

- [内容] ・市民活動推進事業補助金を活用し、メディアに大きく報道された活動を題材に、団体とメディアによるトークセッションを実施。
- ・企業にも市民活動の現状や魅力を知ってもらおうと、工業振興課を通じて市内の企業約 1,000 社にも案内送付。
  - ・団体からは報道による活動への効果などについて、メディアからは長岡の市民活動の特徴やメディアが共感する活動のポイントなどについて、それぞれ話題提供があった。

報道による活動への効果

- ・イベントへの参加者が倍増した
- ・スタッフの意識が変わった、モチベーションが上がった

長岡の市民活動の特徴

- ・長岡は歴史あるまち、活動にも歴史的な背景があるものが多い
- ・地域のみんなで盛り上げようという機運がある

活動の共感ポイント

- ・活動している人の熱意が記者に伝わること
- ・活動のコンセプトやストーリーがしっかりしていること

[来場者] 100 人



## 2 「ながおかNPO法人ハンドブック」の改訂

### 過去の審議会での御意見

- ・企業がNPOの情報を把握するためにハンドブックは非常に意義がある。
- ・NPOの活動内容をきちんと把握していくことが大切。
- ・NPOの抱える問題などを把握して、活動の継続や充実につながる関係作りができてほしい。
- ・交流のきっかけとして、各法人が何をしてほしいかという記述があったらいい。

[改訂内容]・平成30年1月時点の情報に更新

- ・「法人が協力できること・協力してほしいこと」を記載した『法人のメッセージ』欄を追加

[配布等]・市内の市民活動団体、NPO法人、学校、事業組合、商工会議所・商工会等に配付

- ・公共施設への設置、市ホームページへの掲載により、更に広くNPO法人情報の周知を図る（新規）

## 3 「らこって」・「コライト」における企業の社会貢献活動情報の発信

### 過去の審議会での御意見

- ・条例で掲げられている各主体の役割の中で、現状で最も弱いところが事業者。
- ・企業による市民活動や、NPO活動を応援する取り組みを重点的に支援してほしい。
- ・企業は、企業価値が高まるなどメリットがなければ市民活動を支援しない。

- ・社会貢献活動に取り組む企業を取材し、毎月1社、市民活動情報誌「らこって」と市民協働センターホームページ「コライト」で紹介（掲載企業は別紙一覧のとおり）
- ・取材の結果、社会貢献活動に積極的な企業とのつながり作りと、長岡における企業の社会貢献活動の実態を把握することができた

## 4 団体の「協力できること」・「協力してほしいこと」を収集・整理

### 過去の審議会での御意見

- ・NPOの活動内容をきちんと把握していくことが大切。
- ・NPOの抱える問題などを把握して、活動の継続や充実につながる関係作りができてほしい。

- ・市民協働センターの登録団体の情報に、各団体の「協力できること」・「協力してほしいこと」を追加し、相談対応時等の内部資料として活用
- ・今後は、コライトやSNSなどを活用して、広く発信していくことを検討

#### 協力できること（主なもの）

イベント等の企画運営、イベントへの出展・出演、講座・セミナーの講師

#### 協力してほしいこと（主なもの）

活動へのボランティア、活動場所